

～私たちのエバーグリーン 2025 年度の事業計画～

仲間たちは新しい事に果敢に挑戦していく年にします。

職員は研修や施設見学、体験実習を通して内からも外からも学び自信をつけ日々の実践に活かし多様なニーズに応えられるような力を養う年にします。また、どの職員がどこの応援に入っても対応できるように作業内容や支援方法をマニュアル化し共有できるようにします。

【就労継続支援 B 型 事業計画案】

<全体として>

- ・エバーグリーンらしさとは何かを考えながら、工賃について、日常の楽しみについて仲間と模索していく。
- ・仲間の将来をエバーグリーンの中だけで考えず、A 型事業所や他施設の見学を行い、本人が望む環境へ繋いでいく。
- ・新しい仕事づくりに仲間と一緒に果敢に挑戦していく。

<工房班として>

- ・材料費の高騰に伴い商品の値上げはしたいが、外での販売を再開し始めた所であり、秋ごろ商品の値上げを実施したい。
- ・月 4 回以上の外部販売を行う。市役所、消防署、米水津振興局他販売先を開拓する。
- ・販売に必要なディスプレイを考える。
- ・工賃は月 1 万円を目標とし、月 20 万円の売り上げを目指す。

<グリーン班として>

- ・電気メーター分解の仕事に代わり新しくカキ粉碎の仕事始める。粉碎作業で月 14 万円の売り上げを目指す。網の貝除去作業も月 14 万円の売り上げを目指す。
- ・お墓事業は個人契約から墓地を所有する寺との契約に切り替えていく。お客様には契約切替のお知らせを行い、その際に料金見直しを行っていく。

【生活介護 事業計画案】

- 1, 当法人の理念に基づき、利用者ひとりひとりがもっている能力、個性、創造性を最大限に発揮し、積極的に活動や文化に参加して本人の社会自立を支援する。
- 2, 利用者が発しているサインを見逃さず、今、必要としていることへの理解に努めるため、常にコミュニケーションを図っていく。コミュニケーションの難しい利用者に対してはホワイトボードやタブレット、写真付きカード等、様々コミュニケーションツールを使用し意思疎通を行っていく。
- 3, 作業の内容においては、昨年まで行っていた解体作業が無くなった。その為、新たに切手貼り作業や年金事務所からの封筒入れ作業、リサイクル作業(アルミ缶、段ボール、古紙)を行う。また創作活動、ポッチャ、卓球バレーなどを行っていく。野外での活動では、ドライブ、城山登山、サイクリング、散歩、水泳、外食支援などを行っていく。
- 4, 活動内容に応じ、スムーズかつ利用者同士の関係性に考慮しストレスなく活動に参加できる環境(個別化、小グループ化等)を仲間、職員みんなで考え実践していく。
- 5, 活動を行っていく中で、活動内容がマンネリ化しないよう、個々に合った内容で日々活動内容に変化を加えていく。
- 6, 社会参加を目的とした外出訓練活動を実施する。各イベント参加、ショッピング等を計画していく。
- 7, 集団活動の中で、協調性、社会性、自主性を育めるよう支援していく。
- 8, 個別支援計画を作成し、利用者及び家族の希望・要望を実現できるよう支援していく。
- 9, ADL の低下を防止するため、自分でできる事は自分でしていただき、必要があれば支援、介助を行う。
- 10, 各活動では、新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症に十分に注意し常に消毒液やアルコールペーパー等を持ち歩き感染予防を徹底していく。